

# 中学校再編の考え方と学校規模の適正化について

## 1. 中学校再編の考え方

越前町の中学校のうち、宮崎中・越前中・織田中は建設から40年を経過しています。

今後、校舎などの修繕、改修について、長期的観点から工事時期を検討し計画していくと同時に、子供の減少に対応した学びの環境を整備していく必要があります。

そのために、越前町では学校再編への検討を進めることとしました。再編計画をつくるためには、その基礎となる基本的な考え方、方向性をまとめていく必要があります。

地区名	学校名	再編の位置	第1期				第2期				
			令和3・4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
朝日	朝日中	現行維持									
宮崎	宮崎中	新中学校 (既存校舎の 活用を基本)	基本方針 策定	第1期中に再編年・ 再編の位置を 検討・決定				第2期中に検討 宮崎中・越前中・織田中			
越前	越前中										
織田	織田中										

## 2. 学校規模の適正化

(1) 生徒数・学級数が少ないことによる課題

- ・クラス替えが出来ないことで、クラス同士が切磋琢磨する教育活動が出来ない。
- ・部活動の種類が限定される。
- ・運動会、文化祭などの集団活動や行事、体育科の球技や音楽科の合唱のような集団学習の実施に制約が生じる。
- ・協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる。
- ・生徒同士の人間関係や生徒と教員との人間関係に配慮した学級編成ができない。
- ・新たな人間関係を構築する力を身につけさせることができない。

(2) 教員数が少なくなることによる課題

- ・経験年数、専門性、男女比等バランスのとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が困難となる。
- ・教職員一人当たりの校務負担や行事に関わる負担が重く、校内外研修などの時間が十分確保できない。
- ・教職員同士の切磋琢磨する環境が作りにくく、指導技術の相互伝達がなされにくい。
- ・免許外指導の教科が生まれる可能性がある。
- ・部活動の指導者確保が困難となる。

(3) 望ましい学級数の考え方

全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上(6学級以上)が必要となります。また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいものと考えられます。